学科	ビジネス美容科	担当教員	境田		
科目名	エステティック概論／関係法規・制度	学 年	1	実施時期	前期/後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	8
教育目標・ ねらい	エステティックに関する基礎的な知識を習得し、エステティックの本質と現状を知る。 エステティシャンとしての社会的な役割と基本的な心構えを養う				
授業回	学習内容			備 考	
1	エステティックの概念 1. エステティックとは何か 2. 内面美容としてのエステティック 【到達目標】 エステティックの本質である「美」「美学」を学び、精神的・心理的・情緒的に満足を与える要素があることを理解する				
	エステティックの本質と領域 1. エステティックの語源と歴史 2. エステティックの領域 【到達目標】 エステティックの発祥と日本に根付くまでを理解し、日本のエステティックの歩みを学ぶ				
2	美と健康 1. 健康美は心身のバランスから 2. ウェルネス 3. アンチエイジング 【到達目標】 健康美の概念を理解し、ウェルネスとエステティックの接点を考える				
	美と健康 1. 健康美は心身のバランスから 2. ウェルネス 3. アンチエイジング 【到達目標】 健康美の概念を理解し、ウェルネスとエステティックの接点を考える				
3	エステティシャンとしての心構え 1. エステティシャンの資質 2. ホスピタリティーマインドの意義 【到達目標】 サロンが求める人材を理解し、理想のエステティシャンについて学び実践につなげる			小テスト	
	日本のエステティック 1. 歴史と業界の現状 2. エステティックの市場の現状と展望 3. エステティック業界団体 【到達目標】 エステティックの将来性や成長性の要因、今後の方向性を学び理解する				
4	世界のエステティック 1. 欧米における歴史と現状 2. アジアにおける歴史と現状 3. 各国のエステティシャンの教育と資格 【到達目標】 各国のエステティックの現状を理解し、各国の教育システムについて理解する			小テスト	
	エステティシャンの認証制度・資格制度 【到達目標】 認証・資格制度を理解し、消費者から信頼を得るために必要な具体的な基準を学ぶ				

授業回	学習内容	備考
5	前期学科試験	
到達目標	エステティックの安全・安心の社会意義とその重要性を理解し、コンプライアンス意識と正しいエステティック業を営むために必要な能力が備わる	
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない	
テキスト	新エステティック学理論編Ⅲ、エステティック関連法規(AEA)、 エステティシャンセンター試験問題集 AEAエステティシャン認定試験例題集	

学科	ビジネス美容科	担当教員	岩崎		
科目名	衛生管理	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	衛生管理・救急・救命を理解し、お客様の安全(感染症)を守る				
授業回	学習内容			備 考	
1	微生物と人との関係・救急法の目的 【到達目標】人の持つ防衛力を知る、救命・悪化防止・痛みの軽減とは何か学ぶ、顔色の見方で疾患を知るよう学ぶ				
2	一次救命処置の手順 【到達目標】心肺蘇生法の手順を学ぶ、気道の確保、心臓マッサージの方法、AED・止血法の注意点を学ぶ				
3	主な症状の応急手当 【到達目標】各症状の原因や応急手当の手順を学ぶ、スタンダードプリコーションを理解する				
4	主な事故の手当 【到達目標】熱中症ややけど・擦り傷等の応急処置のポイントを理解する				
5	公衆衛生とは何か 【到達目標】WHOや歴史・人名と業績について学ぶ、日本の保険制度、平均寿命、生活習慣病について学ぶ				
6	環境衛生について・小テスト 【到達目標】上下水道や郊外について学ぶ、一般廃棄物と産業廃棄物の違いを学ぶ			小テスト実施 (20題)	
7	感染症 1 【到達目標】病原体別の分類、微生物の特徴、感染の種類、感染経路について学ぶ				
8	感染症 2 【到達目標】エステティックに関連する感染症について学ぶ、サロンで留意が必要な感染症とは何かを学ぶ				
9	消毒法 1 【到達目標】微生物の種類、成分、構造を知る、殺菌や消毒の言葉の意義を覚える、理学的消毒法の分類とその詳細				
10	消毒法 2・小テスト実施 【到達目標】化学的消毒法の各論（特に欠点）を知る				
11	AEA 認定試験例題集①（衛生・消毒）模擬問題				
授業回	学習内容			備 考	

12	AEA 認定試験例題集② (衛生・消毒) 解説	
13	エステティシャンセンター試験模擬問題①	
14	エステティシャンセンター試験模擬問題① 解説	
15	CIDESCO国際試験筆記試験模擬問題	
15	CIDESCO国際試験筆記試験模擬問題解説 後期学科試験	
到達目標	感染症・消毒法・救急・救命を理解し自らの健康やヒトに感染させないように学習する	
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない	
テキスト	エステティック協会 新エステティック学ー理論編Ⅲ、エステティック業協会 サロンでの救急法・衛生・消毒、エステティックセンター試験問題集、AEA認定エステティシャン試験 例題集VOL 5	

学科	ビジネス美容科	担当教員	中野		
科目名	解剖生理学	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	50
教育目標・ ねらい	人体のしくみ、構造と働きの基本を理解し、エステティック施術を正しく行うための基礎知識を習得する				
授業回	学習内容			備 考	
1・2	身体の基本 (p45～50)、人体のあらまし (P10～22) 問題集解説 【到達目標】 1.身体の構成 2.身体的设计 3.身体を構成する物質 4.血液について知る				
3・4	筋、骨格系 【到達目標】 問題集の解答解説により体の基本を説明できる。 1.体区分 2.骨格&筋肉の基本的作用、位置を知る			身体の基本小テスト 骨格標本	
5・6	筋、骨格系つづき 【到達目標】 筋・骨格が互いに協力・連携しながら、様々な機能を果たすこと について理解する			実習室利用希望 骨格標本相モデルでの骨や筋 の位置を確認	
7・8	神経系 【到達目標】 1、神経細胞 2、神経の種類 神経系のあらまし、神経の構造を知る			筋・骨格系小テスト 骨格標本	
9・10	神経系つづき 脳の構造と働き、自律神経の作用 【到達目標】 3.中枢神経 4.抹消神経を区別できるようになる。 神経系につて (脳と体のつながり) を理解する				
11・12	感覚 感覚器のあらまし、五感とは 【到達目標】 五感 (触覚、視覚、聴覚、嗅覚、味覚) それぞれを構成する器官 とその構造を理解し、五感が全身に与える生理作用を知る			神経系小テスト	
13・14	内分泌系 1.内分泌とは 2.ホルモンとは 3.ホルモンを分泌する器官 【到達目標】 ホルモンについて知る。ホルモンを分泌するするそれぞれの器官 と働き、生理作用を知る			感覚器系小テスト	
15・16	呼吸器系 1、外呼吸とな内呼吸 2、肺の構造働き 【到達目標】 肺の構造と働き、呼吸の仕組み (ガス交換) を知る			内分泌系小テスト	
17・18	循環器系 1.心臓の構造 2.血液循環 3.心臓の興奮伝達系 4.リンパ系 【到達目標】 心臓の構造について知り、心臓から血液がどのように体に循環す るか説明できる。リンパ系の構成、働きについて理解する			呼吸器系小テスト	
19・20	消化器系 1.消化器系 (口腔から肛門まで) それぞれの構造と働き 【到達目標】 口から入った食物がどのように消化・吸収され便として排泄され るか理解する。吸収された栄養素の貯蔵や代謝を理解する。			循環器系小テスト	

授業回	学習内容	備考
21・22	泌尿器系 1.腎臓の構造 2.排尿の仕組み 【到達目標】腎臓の構造を知り、血液が尿として排泄されるプロセスを学ぶ	消化器系小テスト
23・24	生殖器系 1.男性生殖器 2.女性生殖器 3.月経 4.妊娠・出産 【到達目標】男女それぞれの生殖器の位置、構造、働きを知る。月経のメカニズム、妊娠・出産までの過程について理解する	泌尿器系小テスト
25	シデスコ問題集・解答解説 【到達目標】シデスコレベルに達していない部分の補足を行い理解を深める	生殖器系小テスト
到達目標	人体の基本的な構造と働きを学び、エステティック技術を安全且つ効果を出すことが出来るようになる	
評価方法	各期筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない。また、小テスト(10点)を各授業回に行う	
テキスト	エステティック協会：新エステティック学 理論編Ⅰ 問題集 エステティック業協会：解剖生理学 心身生理学 問題集	

学科	ビジネス美容科	担当教員	中野		
科目名	解剖生理学	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	25
教育目標・ ねらい	脳についての理解を深め、生命活動の基本であるホメオスタシス、それにかかわる各種器官の働きを知る。ストレスが心身に与える影響とスキンタッチの重要性について学ぶ。				
授業回	学習内容			備 考	
1・2	生命の適応進化の歴史、脳の誕生と進化 ホメオスタシスとは 【到達目標】生命の誕生からヒトの起源、脳、ホメオスタシスを構成する自律神経、内分泌系、免疫系について説明できる				
3・4	免疫系 1.免疫とは 2.免疫の異常 【到達目標】免疫に関係する血液の成分、その働きの復習も行い理解を深める				
5・6	ストレス 1.ストレスとは 2.ストレスとホメオスタシス 3.ストレスと病 気 4.ストレスマネジメント 【到達目標】ストレスの状態について説明できる。ストレスが加わることよ る生体防御機能について説明できる。				
7	心と肥満との関わり 1.肥満の要因 2.小児期の肥満 3.思春期の肥満 4. 女性の肥満 【到達目標】肥満の要因（食生活、運動、心理的要因、内分泌異常、遺伝）に ついて理解する。				
9・10	スキンタッチの効果 1.皮膚の伝導と仕組み 2.手の皮膚感覚 3.スキ ンタッチの重要性 【到達目標】皮膚の役割の復習、皮膚と脳のつながりを理解しエステティシ ョンという仕事をより深く考える。				
11・12	心身生理学総復習 問題集解答解説 【到達目標】問題集の解答解説により、自身の理解度を確認し不十分なところ はもう一度復習し、自主学習につなげる。			小テスト	
13	シデスコ問題集・解答解説① 【到達目標】シデスコレベルに達していない部分の補足を行い理解を深める				
14	後期学科試験				
到達目標	人体の基本的な構造と働きを学び、エステティック技術を安全且つ効果を出すことが出来るよ うになる				
評価方法	各学科試験において60点以上を合格とする。所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することがで きない。また、小テスト（20点満点中12点以上合格）を項目ごとに行う				
テキスト	エステティック協会：新エステティック学 理論編Ⅰ 問題集 エステティック業協会：解剖生理学 心身生理学 問題集				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田		
科目名	運動生理学	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ ねらい	当該科目の内容を理解し知識を高めることで、業務に役立つ能力を身に付ける				
授業回	学習内容			備 考	
1	【Lesson1 運動生理学とは】 1. 運動の必要性と効果 2. 運動のデメリット 3. 筋肉について 4. 筋収縮のエネルギー 5. 筋疲労と超回復 6. 呼吸・心臓と運動 7. 血液と運動（血圧） 【到達目標】 美容と健康の関係性を理解する。プロポーションをつくる為に、運動生理学の知識が心身にどのように効果現れるか理解する				
2	【Lesson2 運動とアンチエイジング】 1. 筋肉と老化 2. 呼吸・心臓と老化 3. 骨・関節と老化 4. メタボリックシンドローム 5. ストレスと運動 【到達目標】 筋肉の特徴を理解し、筋繊維の特徴と違いを理解する。呼吸器・心臓の働きを理解し、生活習慣にどのように影響を及ぼすか理解する				
3	【Lesson3 運動と代謝】 1. エネルギー代謝とは 2. 糖質と代謝 3. 脂質と代謝 4. タンパク質と代謝 5. 基礎代謝と運動 6. 消費カロリー 【到達目標】 基礎代謝と運動の関わり方を学び、各栄養素を仕組みと運動の連動性を理解する				
4	【Lesson4 運動プログラム (筋力トレーニング、有酸素運動、ストレッチについて) 】 【Lesson6 運動の実際】 (1. ウォーキング 2. ストレッチの効用 も含む) 1. 運動プログラムの作り方 【到達目標】 運動処方目的を理解し、運動の継続の重要性を伝えることが出来る				
5	【Lesson6 運動の実際】 2. 運動の種類 3. 運動・トレーニングの原則 4. 運動の強度 5. 運動の持続時間・頻度 6. 運動と消費カロリー 【到達目標】 トレーニングの7つの原則を理解し、自覚的運動強度を理解する				
6	【Lesson5 姿勢・ポジショニング】 1. 姿勢の維持 2. 動作と姿勢の関係 【到達目標】 姿勢の違いを理解し、姿勢と抗重力筋の関係を理解する				
7	【経絡(東洋医学)】 1. 漢方・東洋医学理論 2. 身体各部の押圧と経穴(ツボ)の確認 3. 経穴(ツボ)の位置の確認、押し方や使い方などの基本的な方法を実践し体得する(実技) 【到達目標】 東洋医学の考え方に基づいた身体の経絡を学び、人体への作用する仕組みを体感し効果を理解する				
8	後期学科試験				
到達目標	運動生理学の基本知識を学び、理論的にお客様の施術工程を計画することが出来る				

評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない。小テストは20点満点中12点合格とする
テキスト	新エステティック学理論編Ⅱ、運動生理学(日本エステティック協会テキスト)、日本エステティック業協会テキスト、エステティシャンセンター試験問題集、AEA認定資格例題集

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田		
科目名	皮膚科学	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	エステティシャンとして直接触れる皮膚の構造や働き、生体における役割を学び、理解をしていく。様々な皮膚状態の分析や要因を理解することで、お客様に適切なスキンケアを提供出来るように学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1~4	Lesson1 皮膚の基本知識 1.生体における皮膚の役割 2.皮膚の構造と働き 表皮①基底層 ②有棘層 ③顆粒層 ④角質層 【到達目標】 ①エステティシャンが触れていく「皮膚」が、生理解剖学的にどのような役割をしているのか。 ②皮膚表面と表皮はどのような構造と働きをしているのか。 上記2点を簡単に説明できるようになる			プロジェクター パソコン	
5~8	表皮の付属機関、真皮、皮膚の感覚受容器、皮下組織 【到達目標】 ①表皮の付属機関が、どのような働きをしているか。 ②真皮・感覚受容器・皮下組織の構造と働きはどういうものか。 上記を理解し皮膚の断面図・表面の構造を図示して説明ができるようになる。 ※課題：B5用紙に皮膚表面図及び断面図を3枚描き次回提出			プロジェクター パソコン	
9~12	皮膚の生理機能 保護作用・保湿作用・感覚作用・体温調節作用・分泌、排泄作用・貯蔵作用 ・ビタミンD生成作用・吸収作用 【到達目標】 皮膚が行なう各生理作用を簡潔に説明できるようになる。 ※①~②授業分小テスト実施			プロジェクター パソコン	
13~16	Lesson2 美容上大切な皮膚の6つの働き 1.皮脂膜 2.角質層バリア 3.表皮ターンオーバー 4.メラノサイトの働き① 【到達目標】 ①肌バリアの1つである皮脂膜とはどういうものか。 ②角質層バリアはどのような仕組みをしているのか。 ③皮膚の生まれ変わるサイクルが美肌にどうかかわっているのか。 ④メラノサイトとはどういうものか。 上記4点が説明でき、基礎的なお手入れアドバイスができるようになる。			プロジェクター パソコン	

授業回	学習内容	備考
17~20	4.メラノサイトの働き(2) 5.毛細血管の働き 6.線維芽細胞 7.皮膚の働きのバランス 【到達目標】 ①メラノサイトの重要な役割、生体的反応とはどういうことか。 ②真皮に存在する毛細血管・線維芽細胞の生理機能はどのような働きか。 上記2点を簡潔に説明できるようになる。 ※③授業分小テスト実施	プロジェクター パソコン
21~24	Lesson3 肌の美しさを損ねる要因 1.紫外線 2.寒気 3.乾燥 4.加齢 【到達目標】 ①紫外線の作用・種類・肌の日焼け反応はどのようなものか。 ②寒気や乾燥による肌の状態はどのようなものか。 ③加齢による老化が肌に及ぼす影響とはどのようなものか。 上記3点を理解することでケアアドバイスができるようになる。	プロジェクター パソコン
25~28	5.女性のリズム (1)月経 肌への影響 ・月経周期とホルモン (2)妊娠 (3)更年期 【到達目標】 ①生理解剖学からみた月経・妊娠・更年期を周期とはどういうことか。 ②女性ホルモンが肌に及ぼす影響とはどのようなものか。 肌の変化を理解した上で、施術やアドバイスができるようになる。 ※⑤~⑥授業分小テスト実施	プロジェクター パソコン
29~32	6.精神的ストレス 7.胃腸の不調 【到達目標】 ①生理学からみた自律神経系の働き、及び肌への影響はどのようなものか。 ②消化器系の機能と胃腸の不調が及ぼす肌への影響とはどのようなものか。 自律神経系や消化器系のメカニズムを理解することで、専門的なアドバイスができるようになる。	プロジェクター パソコン
33~36	8.生活習慣・栄養と肌の健康 前期授業まとめ 【到達目標】 ①生活習慣(偏食・嗜好品・運動不足・睡眠不足)が、肌に対してどのように影響を及ぼすのか。 ②美肌を保つために重要となる栄養素とはなにか。 上記2点が説明できるようになる。 ※⑦~⑧授業分小テスト実施	プロジェクター パソコン
37~40	Lesson4 ささまざまな肌状態 1.肌意識の年代変化 2.美しい肌 肌タイプ・スキンケア 【到達目標】 ①美しい肌条件とはどういう肌か。 ②肌診断の基本となる4つの肌タイプとはどのようなものか。 コンサルテーションで重要な肌タイプが見極められるようになる。	プロジェクター パソコン

授業回	学習内容	備考
41~44	3.衰えた肌 (1)衰えた肌の状態 (2)肌を衰えさせる要因 (3)衰えた肌のケアポイント ・年代別の肌状態・シワとたるみ・肌の色の年代変化 【到達目標】 ①衰えた肌の状態はどういうものか。内的・外的・精神的要因やシワ・たるみの原因と対策はどのようなものがあるのか。 シワ対策のアドバイスや電気トリートメントを選択できるようになる。	プロジェクター パソコン
45~48	4.色素沈着を起こした肌 (1)シミ部位の肌状態 (2)シミが出来る要因 (3)日焼けのプロセスにおける肌の状態変化と総合的な美白ケアポイント (4)紫外線防止効果 ・シミの仲間 【到達目標】 ①シミ肌の状態はどういうものか。内的・外的・精神的要因やシミの原因と対策はどのようなものがあるのか。 シミ対策のアドバイスや電気トリートメントを選択できるようになる。	プロジェクター パソコン
49・50	5.ニキビ (1)ニキビの状態 ①ニキビの進行ステップ ②ニキビ肌のケアポイント 【到達目標】 ①ニキビとはどういうものか。 ②発生過程・原因・対策はどのようなものか。 上記2点を理解することで、適切なケアや栄養面のアドバイスができるようになる。	
51・52	6.肌荒れと敏感 【到達目標】 ①肌荒れと敏感肌の違いはということか。 ②炎症を起こす要因とケアポイントはどんな方法があるのか。 上記2点を理解し、的確なアドバイスと施術の選択ができるようになる。 ※⑫～⑬授業分小テスト実施	プロジェクター パソコン
53・54	肌トラブルと皮膚疾患 Lesson5 肌と環境 【到達目標】 エステティックでは禁忌事項となる医療領域の『皮膚疾患』を正しく把握することで、美容技術で解決できるものかどうか、判断できるようになる	プロジェクター パソコン
55~58	Lesson6 肌分析 1.目的 2.考慮すべきポイント 3.肌質チェック項目 【到達目標】 実技で行なうコンサルテーションの内容を、項目毎に把握して組み立てられるようになる。 ⑭～⑮授業分小テスト実施	プロジェクター パソコン
59・60	4.肌タイプ 皮膚科学まとめ 【到達目標】 肌診断が的確にできるようになる。 CIDESCO国際試験の筆記試験及び実技口頭試問に対応できるようになる。	プロジェクター パソコン
到達目標	CIDESCO国際試験・ajesthe認定エステティシャン・AEA上級エステティシャン試験合格及び、卒業後に進む美容業界での即戦力となる知識の習得	

評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない
テキスト	日本エステティック協会 教本 新エステティック学 理論編Ⅰ 日本エステティック業協会(AEA) 教本 エステティシヤンのための皮膚科学

学科	ビジネス美容科	担当教員	久光・境田		
科目名	エステティック電気・機器学	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	エステティックの施術に必要な各種美容機器の動作原理の理解に必要な知識、安全に使用するために必要な知識の習得を目標とする				
授業回	学習内容			備 考	
1	電気とは 【到達目標】 電気の性質を水の流れと対比して理解し、電流。電圧、抵抗の意味と関係性を学ぶ。電流が、原子を構成する電子の移動のことであることを理解する。また、電子の移動が起きやすい物質と化学結合の関係を知る。				
2	電気の種類、電気の三大作用(磁気作用) 【到達目標】 電気の種類として静電気と動電気という大分類と、動電気の中に直流と交流があることを理解する。電流によって磁場が発生し、磁場によって電流が発生する現象を知り、発電機が交流電流を作る様子やスマホの無線充電、電子マネーなどICカードが動くしくみなどの応用例と紐づけて理解する。				
3	電気の三大作用(熱作用、化学作用) 【到達目標】 電流によって熱が発生する現象、電流によって電波が発生する現象、電流によってイオン化合物が分解される現象について理解し、エステティック機器や日常生活の電気製品での利用例を一緒に理解する。☒				
4	電気による美容作用 【到達目標】 人体も導体であることを理解する。人体が導体であることを利用して人体に電気を流すこととそれによる美容効果との関係を知る。				
5	エステティック機器 カウンセリング使用機器について 【到達目標】 カウンセリングをより効果的に行うための様々な機器・種類・機器名・使用目的・特徴を理解する				
6	エステティック機器 施術用機器について(・スチーマー・ブラッシング機器・吸引機器・スプレー機器) 【到達目標】 機器の仕組みや使用目的・生体作用・美容効果及び使用上の注意や禁忌事項を理解し説明出来るようになる			小テスト実施	
7	エステティック機器 (・高周波機器・超音波機器・イオン導入機器・エレクトロクレンジング機器・エレクトロピーリング) 【到達目標】 各美容機器の原理・効果・禁忌事項はどのようなものか。 上記を説明できるようになる。 機器を安全に使用することができるようになる。 ※③~④授業分小テスト実施			小テスト実施	

授業回	学習内容	備考
8	<p>エステティック機器 (・可視光線機器・赤外線機器・保温マット・揉捏機器・吸排気振動機器・磁気振動機器)</p> <p>【到達目標】 各美容機器の原理・効果・禁忌事項はどのようなものか。 上記を説明できるようになる。</p>	小テスト実施
9	<p>エステティック機器 ・低周波機器　・空気圧機器</p> <p>【到達目標】 低周波とはどういうものか。 低周波機器の電気刺激の5要素・筋収縮のメカニズム・機器の目的と作用・禁忌事項はどういうものか。 上記2点を説明できるようになる。 美容機器を正しく取り扱えるようになる。 ※⑤~⑥授業分小テスト実施</p>	小テスト実施
10	<p>エステティック機器 光線応用機器　美容電気学のまとめ</p> <p>【到達目標】 IPLとはどういう原理なのか。 レーザーとはどういう原理なのか。 エステティック機器における光線応用機器の作用、利点及び注意点はどういうものか。 上記3点を説明できるようになる。</p>	小テスト実施
11	<p>エステティシャンセンター試験 模擬問題</p> <p>【到達目標】 合格基準の点数に達する復習・確認を行い不足を理解する</p>	
12	<p>AEA認定資格試験 模擬問題</p> <p>【到達目標】 合格基準の点数に達する復習・確認を行い不足を理解する</p>	
13	<p>CIDESCO国際試験 模擬問題</p> <p>【到達目標】 合格基準の点数に達する復習・確認を行い不足を理解する</p>	
14	<p>CIDESCO国際試験 口頭試問試験対策</p> <p>【到達目標】 理論的に機器の説明を行うことが出来るようになる</p>	
15	<p>前期学科試験</p>	
到達目標	電気の存在をイメージできる。電流の三大作用を、日常生活での具体的利用例とセットで理解できる。電流が人体に及ぼす美容効果についてその原理とともに理解できる。	
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない。	
テキスト	日本エステティック協会 新エステティック学-理論編III-、日本エステティック業協会 エステティック電気学・機器学、エステティシャンセンター試験問題集、AEAエステティシャン認定試験 例題集VOL 5	

学科	ビジネス美容科	担当教員	齋藤（則）		
科目名	栄養学	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	食物の栄養素と健康の関係を学ぶことで、エステティック施術に役立つアドバイスができるようになる。				
授業回	学習内容			備 考	
1	栄養学の基礎知識 【到達目標】 ①健康に生きるために必要な基礎知識②代謝のしくみ③基礎代謝量と摂取エネルギー④健康食品 上記のことを習得することで体と食物の関係を理解し、個人にあった体重管理が行えるようになる。また、サプリメントの基本的な考え方を理解する				
2	栄養学の基礎知識 【到達目標】 ①5大栄養素とその働き②タンパク質 上記のことを習得することで、タンパク質の働きをお客様に伝えられるようになる			PC、プロジェクター	
3	栄養学の基礎知識 【到達目標】 ①脂質の種類とその働き②効果的な摂り方 上記のことを習得することで脂質の働きをお客様に伝えられるとともに食生活の提案ができるようになる			PC、プロジェクター	
4	栄養学の基礎知識 【到達目標】 ①糖質の特徴と種類②血糖値との関係③新しい甘味料④効果的な摂り方 上記のことを習得することで糖質の働きをお客様に伝えられるとともに新しい食生活の提案ができるようになる			PC、プロジェクター	
5	栄養学の基礎知識 【到達目標】 ①食物繊維の分類とその働き②ビタミンの種類とその特徴 上記のことを習得する				
6	栄養学の基礎知識 【到達目標】 ①ビタミンの種類とその特徴②ビタミン様物質の種類とその働き③ミネラルの種類とその働き 上記のことを習得する。				
7	栄養学の基礎知識 【到達目標】 ①5大栄養素をふり返る②アドバイスワーク 5大栄養素をふり返り、お客様の食生活の問題点を見つけ出し、具体的な食生活の提案ができるようになる。			PC、プロジェクター	
8	健康と栄養 【到達目標】 ①6つの基礎食品群の特徴とその働き②一汁三菜とバランスのよい食事の関係③食事の役割と食生活指針④生活習慣病と食べることについて上記のことを習得し、お客様に食生活をふり返ってもらえることを目指す				
授業回	学習内容			備 考	

9	健康と栄養 【到達目標】①肥満のメカニズムと効果的な食事法②アドバイスのコツ 上記のことを習得し、肥満の原因を見つけ出し、具体的な食生活の提案ができるようになる	
10	健康と栄養 【到達目標】①健康と栄養をふり返る②アドバイスワーク 健康と栄養をふり返ることでお客様の食生活の問題点を見つけ出し、具体的な食生活の提案ができるようになる	PC、プロジェクター
11	健康と栄養 【到達目標】①食生活と体調②フィトケミカルの種類とその働き③食中毒 現代人に多い疲れやストレスに必要な栄養素とフィトケミカルのパワーについて習得することでお客様に理論をもって説明と提案ができるよう知識を深める	
12	健康と栄養 【到達目標】①食生活と健康美②食生活と女性の健康 様々な肌トラブル、毛髪、爪、ホルモン、貧血、便秘、冷え性の原因とその対策を理解することでそのお客様に応じたアドバイスができるようになる	
13	総まとめ 【到達目標】①健康と栄養をふり返る②アドバイスワーク 健康と栄養をふり返ることでお客様の食生活の問題点を見つけ出し、具体的な食生活の提案ができるようになる	PC、プロジェクター
14	総まとめ 【到達目標】①アドバイスワーク②ふり返りテスト お客様の食生活の問題点を見つけ出し、具体的な食生活の提案ができるようになる。また今までの内容の理解度をテストを通して確認する	PC、プロジェクター
15	総まとめ 【到達目標】①アドバイスを4コマ漫画で伝える②学科試験 お客様の食生活の問題点を見つけ出し、4コマ漫画にまとめることでコンパクトで分かりやすい説明とはなにかをつかみ取る	PC、プロジェクター
到達目標	食べ物に含まれる栄養素の作用を理論をもってお客様に説明し、アドバイスに活かせるようになる	
評価方法	各期筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない	
テキスト	エステティシヤンのための栄養学(日本エステティック業協会)	

学科	ビジネス美容科	担当教員	久光		
科目名	化粧品学	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	施術での使用や販売において必要な化粧品に関わる法律、化粧品を構成する成分、化粧品の役割や種類についての知識を習得する。				
授業回	学習内容			備 考	
1	法規、分類、水性成分 【到達目標】 医薬品医療機器等法における化粧品、医薬部外品の定義、化粧品の効果効能、全成分表示のルール、化粧品の分類、化粧品成分の主な役割分類、さまざまな化粧品の中身構成、水性原料（水、エタノール、保湿剤）の役割と覚えておくべき有名な成分の名前がわかる。				
2	化粧水、法規、界面活性剤 【到達目標】 化粧水が水性原料によって設計されていること、一般的な品質保証および化粧品の品質の詳細、界面活性剤の役割と種類および覚えておくべき有名な成分の名前がわかる。				
3	界面活性剤型洗剤 【到達目標】 界面活性剤型洗剤が汚れを落とす仕組み、界面活性剤型洗剤が界面活性剤と水性原料の組み合わせによって設計されていること、固形石鹸、洗顔フォーム、ボディソープ、ヘアシャンプーそれぞれでよく使われる界面活性剤の種類や成分の名前、なぜその成分が使われるのかがわかる。				
4	油性成分 【到達目標】 油性原料の役割と種類と種類ごとに覚えておくべき成分の名前がわかる。				
5	溶剤型洗剤、乳化、乳化物 【到達目標】 溶剤型洗剤が汚れを落とす仕組み、界面活性剤型洗剤との違い、溶剤型洗剤の種類（クレンジングオイル、クレンジングクリーム）、クレンジングオイルでよく使われる有名な油性原料の名前、乳化と乳剤の種類、乳液・クリームの役割、乳化物を作るのによく使われる界面活性剤の種類や成分の名前、油性成分の種類や名前がわかる。				
6	紫外線と日焼け止め、着色剤とメイク 【到達目標】 紫外線とはなにか、紫外線を防ぐ成分の種類と覚えておくべき有名な成分の名前、日焼け止め製品の性能(SPF、PA)、化粧品における着色剤の役割、着色剤の種類と覚えておくべき有名な成分の名前、メイク化粧品の分類、ベースメイクの種類（ファンデーション、コンシーラー、フェイスパウダー）と役割と主な成分、ポイントメイクの種類（アイブロー、アイカラー、アイライナー、マスカラ、口紅、ネイル）と役割と覚えておくべき有名な成分がわかる。				

授業回	学習内容	備考
7	美容成分、有効成分、香料、フレグランス化粧品 【到達目標】紫外線防御、美白、抗炎症、抗酸化、引き締め・収れん・制汗、角質溶解、洗浄力向上、肌荒れ改善、創傷治癒など美容成分・有効成分の主な種類と覚えておくべき有名な成分の名前、香料の種類、フレグランス化粧品の分類、香り立ちの時間分類と種類、フレグランス化粧品の使い方がわかる。	
8	品質保持剤 【到達目標】品質保持剤（増粘、酸化防止、紫外線防止、金属イオン封鎖、防腐、アルカリ）の種類と覚えておくべき有名な成分の名前がわかる	
9	その他化粧品、化粧品による肌トラブル 【到達目標】制汗・防臭化粧品、脱毛料、浴用剤、パック料、マッサージ料、スリミング化粧品などエステと関連深い化粧品の種類と重要な成分の名前、化粧品による肌トラブルの種類と対応方法がわかる	
10	エステティシャンセンター試験 模擬問題 【到達目標】合格基準の点数に達する復習・確認を行い不足を理解する	
11	AEA認定資格 模擬問題 【到達目標】合格基準の点数に達する復習・確認を行い不足を理解する	
12	後期学科試験	
13	化粧水、クレンジングオイル、乳液、クリームを作る 【到達目標】化粧品を実際に自分で作ることで化粧品学で学んだ設計をより深く理解する。	
14	化粧水、クレンジングオイル、乳液、クリームを作る 【到達目標】化粧品を実際に自分で作ることで化粧品学で学んだ設計をより深く理解する。	
15	化粧水、クレンジングオイル、乳液、クリームを作る 【到達目標】化粧品を実際に自分で作ることで化粧品学で学んだ設計をより深く理解する。	
到達目標	どのような法律のもとで化粧品の製造販売が行われているか、化粧品成分のさまざまな役割と代表的な成分名、化粧品の種類や用途を理解し、接客の場において活用できる。	
評価方法	各学科試験において60点以上を合格とする。所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない。また、小テスト（20点満点中12点以上合格）を項目ごとに行う	
テキスト	日本エステティック協会 新エステティック学－理論編III－、日本エステティック業協会 化粧品学、エステティシャンセンター試験問題集、AEAエステティシャン認定試験 例題集Vol. 5	

学科	ビジネス美容科	担当教員	橋本		
科目名	エステティック運営管理	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義・演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	25
教育目標・ ねらい	美容サロンの経営に関する知識を理解し、事業計画を作成できるようになる。				
授業回	学習内容			備 考	
1	【内容】経営学とは 経営学の必要性 経営学と日常生活 【到達目標】経営学を学ぶ意義を理解する				
2	【内容】ドラッカーの「マネジメント」解説 【到達目標】マーケティングとイノベーションについて理解する				
3	【内容】ドラッカーの「マネジメント」内容の実例 【到達目標】産能課題の解答が書けるようになる				
4	【内容】経営戦略の考え方 情報収集や分析の方法 【到達目標】戦略策定フローを理解する				
5	【内容】市場の捉え方、マーケティング戦略 【到達目標】市場細分化の方法と、マーケティングの4つのPを理解する				
6	【内容】マーケティングの4つの要素 【到達目標】標的顧客に合わせた4つのPを組み立てられる				
7	【内容】売上向上策 客単価と客数 【到達目標】店舗で売上をあげるために何をすべきかを理解する				
8	【内容】営業利益向上策 費用と利益 【到達目標】お店で利益を出すために何をすべきか理解する				
9	【内容】経営の数字（損益計算書、損益分岐点など） 【到達目標】損益計算ができる 損益分岐点の計算ができる				
10	【内容】ストアコンセプトと営業内容 【到達目標】ストアコンセプトとは何かを理解し、ストアコンセプトに合わせた営業内容を考えることができる				
11	【内容】スチューデントサロン計画作成の解説、演習 ① 【到達目標】スチューデントサロンの経営計画を作成する				
12	【内容】スチューデントサロン計画作成の解説、演習 ② 【到達目標】スチューデントサロンの経営計画を作成する				
13	【内容】発表準備と発表 ① 【到達目標】人前で自分たちの考えを説明できる				

授業回	学習内容	備考
14	【内容】発表準備と発表 ② 【到達目標】人前で自分たちの考えを説明できる	
15	【内容】発表準備と発表 ③ 【到達目標】人前で自分たちの考えを説明できる	
到達目標	スチューデントサロンの運営計画を数値計画を含めて立案できるようになる。	
評価方法	提出課題（スチューデントサロン実施計画書）で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない	
テキスト	配布資料 産能大学テキスト	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当教員は25年近い経営コンサルタントとしての豊富な実務経験から、実践的なサロン運営の基礎知識を伝える	

学科	ビジネス美容科	担当教員	井川		
科目名	エステティック運営管理	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義・演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	20
教育目標・ ねらい	PC操作に必要な知識を身につけると同時に、プレゼンテーションツールとしてソフトが使えるようになる				
授業回	学習内容			備 考	
1	メディアリテラシー（情報を取捨選択） 【到達目標】メディアの特性理解、情報収集と活用方法 情報モラル（著作権、肖像権、個人情報等） SNSトラブルについて考える（LINE教材使用）				
2	ウインドウズ基本操作のネット活用読み解く 【到達目標】ビジネス文書作成、各部名称～機能紹介、文字入力～書式設定、ファイル保存、ページ設定の一連の流れが出来る				
3	書式設定、表の挿入～編集、画像の挿入～テキストの折り返し Excel基礎、各部名称、データ入力、四則計算、達成率、構成比、オートフィル、SUM関数、絶対参照、表示形式の設定 【到達目標】PC基本操作を学び、自らテキスト作成を行うことが出来る				
4	表作成、行・列の操作、シートの挿入、 【到達目標】関数、データベース（顧客管理、並べ替え、抽出） WordとExcelの確認テストの実施 ビジネス文書と売上表作成、全体の復習を行い完成させる				
5	パワーポイントの基本操作 【到達目標】プレゼンテーションとは、スライド作成、編集、画像の挿入、アニメーション設定を行うことが出来る				
6	ビジネス美容科の紹介をパワポで作成 【到達目標】写真、図形、グラフの効果的な使い方 ひとの心を動かすキャッチコピーについて 学校、ビジネス美容科、自分を表すキャッチコピーを考えることが出来る				
7	キャッチコピーのプレゼンテーション実施 【到達目標】PC基本、応用操作を行いキャッチコピーの作成を行い提案することが出来る				
8	顧客満足について考える、見込み客～固定客へ (事例：ディズニー、リッツ、老舗旅館等) 【到達目標】プレミアム、クーポン、サンプリング、POP、DM、店舗レイアウトと商品陳列について理解する				
9	ひとの心を動かす表現テクニック15事例を紹介				
10	スチューデントサロン開設企画案 プレゼンテーション				
到達目標	サロン運営に必要なPC操作を身につけ、仕事の幅を広げることが出来る				

評価方法	課題(プレゼンテーション)と授業内での小テストで評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない
テキスト	プリント教材

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田		
科目名	エステティックカウンセリング	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ ねらい	お客様の要望に応える為に、カウンセリングで行う情報収集の重要性を理解する。また施術計画を立てるだけでなく、お客様の心理的变化に気づき寄り添える対応力を養う				
授業回	学習内容			備 考	
1	【カウンセリング概論】1. エステティックにおけるカウンセリングの定義 2. カウンセリングとは 3. 心の仕組み 【到達目標】 カウンセリングとはお客様の悩みや要望を把握することであることを学び、施術計画・効果を左右する重要なものである事を理解する				
2	【カウンセリングの基本】1. 心理的なカウンセリングとの違い 2. 顧客心理 3. カウンセリングの基本姿勢 【到達目標】 エステティックサロンにおけるカウンセリングと、心理的なカウンセリングの違いを理解する。またお客様の願望に応えるエステティシアン の心構えを理解し、お客様に寄り添ってカウンセリングを行くことを修得する。				
3	【エステティックカウンセリングの実践】1. 施術前のカウンセリング 2. 施術中のカウンセリング 3. 施術後のカウンセリング 【到達目標】 コンサルテーションシートを活用し、最適な施術計画を行う為に さまざまな視点から情報を確認し、使用商材・機器の選択とホームケアアドバイスの重要性を理解出来る				
4	【エステティックカウンセリングの実践】4. カウンセリングを行う環境条件 5. コンサルテーションシートの活用 【到達目標】 カウンセリング時のエステティシアンとしてのマナーやお客様への 配慮を学び、コンサルテーションシートに必要な項目を理解し実践で応用対 応が出来るようになる				
5	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション演習】 フェイシャル 1. 項目の 確認 2. シート記入の仕方 3. 施術計画の立て方 【到達目標】 実際のお客様の施術計画を立て、理論的に効果が出る事を説明す ることが出来る				
6	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション演習】 ボディ 1. 項目の確認 2. シート記入の仕方 3. 施術計画の立て方 【到達目標】 実際のお客様の施術計画を立て、理論的に効果が出る事を説明す ることが出来る				
到達目標	カウンセリングの基本的な考え方や対応力を身に付け、コンサルテーションシートの記入を行うことが出来る。また施術計画を立てる際、お客様の心身の状態を考慮した内容に変更する応用力も身につけている				

評価方法	各期筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない
テキスト	AEAエステティックカウンセリングテキスト シデスコマニュアルテキスト 配布プリント
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術理論（フェイシャル）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	8
教育目標・ ねらい	エステティック技術の基本的な流れや工程の目的、手法、効果・禁忌事項を理解する。また、電気機器の基礎を学びイオン導入の作用を理解し、説明と実践が行えるようにする				
授業回	学習内容			備 考	
1・2	フェイシャルエステティックの目的と効果 1. 目的 2. 効果 事前準備とカウンセリング 1. 事前準備 2. ビフォーカウンセリング 3. カウンセリング後のトリートメント準備 【到達目標】 フェイシャルエステティックの目的と効果について理解をする。 事前準備の必要性を理解し、お客様へ安全に施術を行う為に施術前後のカウンセ リングで確認する事項を理解する。				
3	フェイシャルトリートメント 1. クレンジング 2. スチームタオル 3. 施 術中のカウンセリング（皮膚の観察） 4. ディープクレンジング 5. マッサージ 6. パックマスク 7. 仕上げ 8. アフターカウンセリング 【到達目標】 各工程の目的と手法について理解する。				
4	基本手技マッサージ理論 【到達目標】 フェイシャルマッサージの目的や基本6手技の種類と効果・作用 を理解する。				
5・6	【電気機器】 1. 電気機器を使用したお手入れ 2. スキンチェック 3. ディー プクレンジング 【到達目標】 ハンドケアと組み合わせて行う機器トリートメントについて理解 をする。機器の種類と目的・禁忌事項を確認し、正確で安全に機器を使用出来 るようにする。 ディープクレンジングの手法の種類を理解し、角質肥厚の状況によって手技・ 商材を選択できるようになる。				
7	シデスコ対応イオン導入・デイスインクラステーション理論 【到達目標】 直流電流の仕組みを理解し、使用目的・生体作用・美容効 果・使用上の注意・禁忌事項を理解し説明と施術が出来るようになる。				
8	小テスト				
到達目標	エステティックの基礎知識を学び、施術工程の意味を理解することが出来る。また、お客様の用 途によって商材や手技・機器の使い分けの技術が行う事が出来る。。				
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を 下回る学生は受験することができない				
テキスト	新エステティック学一技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト シデスコマニュアルテキスト				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有する サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術理論（フェイシャル）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	美容電気機器の仕組みを理解し、施術工程を組み立てる際に選択肢の幅を広げる事を目的とする。また、最新の美容機器理論を学び、時代のニーズに沿った施術内容を行えるようにする				
授業回	学習内容			備 考	
1	シデスコ対応パック・マスク理論 【到達目標】肌分析に応じトラブルを改善するために商材の特性や、成分の効能を学ぶ。お客様の悩みによって、商材を選別できる知識・手技を取得する。				
2	小テスト・解説 【到達目標】20点満点中、12点以上を合格とする				
3	電気機器 5. 高周波 【シデスコ対応高周波機器実技理論】 【到達目標】高周波機器の分子の動きと。電気エネルギーの力による生体作用の原理を理解し、機器の使い方を取得する。また、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の肌トラブルの状態によって機器の選択が出来るようになる。				
4	小テスト・解説 【到達目標】20点満点中、12点以上を合格とする				
5	電気機器 6.超音波 【シデスコ対応超音波実技理論】 【到達目標】超音波の音波の仕組みを理解し、生体作用を理解する。超音波の機器の種類を知り、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の肌トラブルの状態によって機器の選択が出来るようになる				
6	電気機器 4. パター 【シデスコ対応パター技術理論】 【到達目標】吸引吸排応用機器の仕組みを理解し、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の肌トラブルの状態によって機器の選択が出来るようになる。				
7	来客実習対応化粧品理論① 【到達目標】あらゆるお客様の肌トラブルに対し、商材を選択出来るよう成分・効能・使用用途の知識を学び効果を出すことが出来る。				
8	来客実習対応美容機器理論① 【到達目標】最新の美容機器の知識を学び、お客様の悩みによって機器の選択を出来るようになる。				
9	来客実習対応美容機器理論② 【到達目標】最新の美容機器の知識を学び、お客様の悩みによって機器の選択を出来るようになる。				

10	小テスト・解説 【到達目標】20点満点中、12点以上を合格とする	
到達目標	お客様の肌分析に基づき、機器や商材の選択を自ら行い施術効果を出すことが出来る	
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない	
テキスト	新エステティック学一技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト シデスコマニュアルテキスト 来客実習マニュアルテキスト 配布プリント	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術理論（ボディ）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	8
教育目標・ ねらい	エステティック技術の基本的な流れや工程の目的、手法、効果・禁忌事項を理解する。また、電気機器の基礎を学びイオン導入の作用を理解し、説明と実践が行えるようにする				
授業回	学習内容			備 考	
1・2	ボディエステティックの目的と効果 1. 目的 2. 効果 事前準備とカウンセリング 1. 事前準備 2. ビフォーカウンセリング 3. カウンセリング後のトリートメント準備				
3	ボディトリートメント 1. ボディ観察 2. 温浴 3. ディープクレンジング 4. 電気機器 5. マッサージ 6. パック・マスク 7. 仕上げ 8. アフターカウンセリング 【到達目標】 各工程の目的と手法について理解する。				
4	【基本手技マッサージ理論】 【到達目標】 ボディマッサージの目的や基本6手技の種類と効果・作用を理解する。				
5・6	【電気機器】 1. 電気機器を使用したお手入れ 2. ボディチェック 3. ディープクレンジング 【到達目標】 ハンドケアと組み合わせて行う機器トリートメントについて理解をする。機器の種類と目的・禁忌事項を確認し、正確で安全に機器を使用出来るようにする。 ディープクレンジングの手法の種類を理解し、角質肥厚の状況によって手技・商材を選択できるようになる。				
7	シデスコ対応ボディガルバニック理論 【到達目標】 直流電流トリートメントの仕組みを理解し、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意・禁忌事項を理解し説明と施術が出来るようになる。				
8	小テスト・解説 【到達目標】 20点満点中、12点以上を合格とする				
到達目標	エステティックの基礎知識を学び、施術工程の意味を理解することが出来る。また、お客様の用途によって商材や手技・機器の使い分けの技術が行う事が出来る。。				
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	新エステティック学ー技術編Ⅰ AEAボディ実技理論 シデスコマニュアルテキスト				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				
学科	ビジネス美容科	29	担当教員	境田・笹木・高橋・川添	

科目名	エステティック技術理論（ボディ）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 （単位）	10
教育目標・ ねらい	美容電気機器の仕組みを理解し、施術工程を組み立てる際に選択肢の幅を広げる事を目的とする。また、最新の美容機器理論を学び、時代のニーズに沿った施術内容を行えるようにする				
授業回	学習内容			備 考	
1	電気機器 4. ボディサクション 【シデスコ対応ボディサクション技術理論】 【到達目標】吸引吸排応用機器の仕組みを理解し、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の肌トラブルの状態により機器の選択が出来るようになる				
2	小テスト・解説 【到達目標】20点満点中、12点以上を合格とする				
3	電気機器 5. バイブレーター 【シデスコ対応G5機器実技理論】 【到達目標】振動応用機器の生体作用の原理を理解し、機器の使い方を取得する。また、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の体の状態によって機器の選択が出来るようになる。				
4	小テスト・解説 【到達目標】20点満点中、12点以上を合格とする				
5	電気機器 6.赤外線機器・可視光線機器・保温マット 【シデスコ対応プレトリートメント理論】 【到達目標】各光線の仕組みと保温マットによる使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の体の状態によって機器の選択が出来るようになる				
6	シデスコ対応パック・マスク理論 【到達目標】ボディ分析に応じ症状を改善するために商材の特性や、成分の効能を学ぶ。お客様の悩みによって、商材を選別できる知識・手技を取得する。				
7	来客実習対応化粧品理論① 【到達目標】さまざまなお客様の体の状況に対し、商材を選択出来るよう成分・効能・使用用途の知識を学び効果を出すことが出来る。				
8	来客実習対応美容機器理論① 【到達目標】最新の美容機器の知識を学び、お客様の悩みによって機器の選択を出来るようになる。				
9	来客実習対応美容機器理論② 【到達目標】最新の美容機器の知識を学び、お客様の悩みによって機器の選択を出来るようになる。				

授業回	学習内容	備考
10	小テスト・解説 【到達目標】20点満点中、12点以上を合格とする	
到達目標	お客様のボディ分析に基づき、機器や商材の選択を自ら行い施術効果を出すことが出来る	
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない	
テキスト	新エステティック学ー技術編Ⅰ AEAボディ実技理論 デスクマニュアルテキスト 来客実習マニュアルテキスト 配布プリント	シ
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術理論（メイクアップ）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	メイクアップに必要な基本的な知識と技術を身に付け、お客様の肌をより美しく、個性を引き出すメイクアップを仕上げるよう商材の知識・効果・配色効果を学ぶ。				
授業回	学習内容			備 考	
1	メイクアップ概論 【到達目標】メイクアップの目的を学び、有用性を理解する。				
2	シデスコ対応メイク実技理論① 【到達目標】シデスコ国際試験対応のメイク試験に対し、目的・効果・注意事項・衛生面を理解し、説明・実践が出来るようになる。				
3	シデスコ対応メイク実技理論② 【到達目標】シデスコ国際メイク技術試験で質問される、メイクアップ化粧品成分について学び、肌質によって使い分けの説明・実践が出来るようになる。				
4	顔の構造 【到達目標】「骨格」「筋肉」「脂肪」「皮膚の状態」を理解し、商材の選択基準を行えるようになる。				
5	筋肉と表情 【到達目標】メイクによって作る表情・雰囲気に必要な筋肉の位置・動きを学び、配色の選択や使用するメイク道具を使い分けることが出来る。				
6	顔のプロポーショナル 【到達目標】標準の顔のプロポーショナルを学び、個性によって仕上がりが異なることを理解する。また、商材・テクニックの応用が出来るようになる。				
7	メイクアップ準備・備品 【到達目標】衛生面観点から、備品の準備、道具の手入れの仕方を学び実践を行う。				
8	小テスト・解説 【到達目標】20点満点中、12点以上を合格とする				
到達目標	お客様の個々の骨格や顔のプロポーショナルの違いによって、商材の選択・テクニックを変え、メイクアップの作品を作る事ができる。また、シデスコ国際試験時に、商材の成分や肌質別に商材の説明が出来るようになる。				
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	新エステティック学-技術編Ⅱ シデスコ対策配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				
学科	ビジネス美容科	32	担当教員	石川	

科目名	エステティック技術理論（色彩学）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	座学	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	4
教育目標・ ねらい	新エステティック学に掲載されている色彩学の内容を理解し、学んだ技術などに応用できるようにする。				
授業回	学習内容			備 考	
1	色の基礎知識 【到達目標】 (1) 色を感じる仕組みを理解する (2) 色の三属性とトーンについて理解する			新エステティック学技術 編IIテキスト 筆記用具 プロジェクター	
2	色の組み合わせによる効果 【到達目標】 (1) 色の三原色を理解する。 (2) 色の対比と同化を理解する (3) 色の見えやすさについて理解する			同上	
到達目標	新エステティック学に掲載されている色彩学の内容を理解し、学んだ技術などに応用できるようにする。				
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る出席者は評価対象としない。				
テキスト	新エステティック学技術編II				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術理論 (サロンマネジメント)	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	サロン経営の基本を学び、サロン運営の心得を育てる				
授業回	学習内容			備 考	
1	エステティック業の役割 1. エステティック業の役割と責任 2. やりがいのある仕事・働きがいのある職場 【到達目標】 エステティシヤンの責務を理解し、職業としての社会的責任を理解する。				
2	サロン運営・来客実習対応サロン運営理論① 1. サロン業務の流れ 2. サロン管理 【到達目標】 1日の業務の流れを理解し、カウンセリングやコミュニケーションの重要性を理解する。また、スチューデントサロン運営の流れの基礎を組み立てることが出来るようになる。				
3	サロン繁栄の為の顧客管理 1. サービス業としての重要ポイント 2. クレーム対応 【到達目標】 顧客満足やサロン選定の行動心理を理解し、エステティシヤンとして必要な知識を修得する。また、クレームが起きる原因を理解し、改善策を立てることが出来るようになる。				
4	来客実習サロン運理理論② 1. 顧客管理方法 2. 予約の取り方 3. 予約確認の行い方 【到達目標】 具体的にサロン運営を行うにあたり、方法論を議論する。				
5	サロンマネジメント 1. マネージャーが考えるべきこと 2 職業能力評価基準 【到達目標】 経営と人材育成を行う為に必要な知識を理解する。従業員満足度とは何かを理解し、サロン運営に反映させる。				
6	来客実習サロン運営理論③ 1. 日報の書き方 2. 在庫管理 3. 受付業務 【到達目標】 サロン運営を実際に行う為に必要な書類の書き方を学び実践する。				
7	来客実習サロン運営理論④ 1. 商品販売 2. 来店促進 3. 広報・企画 【到達目標】 運営目線に立ち、売り上げを上げるためには、どのような方法があるか考え、実践に移し分析を行う				
8	来客実習サロン運営理論④ ホスピタリティマインド 【到達目標】 サービス提供とおもてなしの心を持ち、接客用語の基本や言葉遣い・立ち振る舞い等について理解し実践につなげる				
9	来客実習サロン運営理論④ ホスピタリティマインド 【到達目標】 サービス提供とおもてなしの心を持ち、接客用語の基本や言葉遣い・立ち振る舞い等について理解し実践につなげる				
授業回	学習内容			備 考	

10	来客実習サロン運営理論④ ホスピタリティマインド 【到達目標】 サービス提供とおもてなしの心を持ち、接客用語の基本や言葉遣い・立ち振る舞い等について理解し実践につなげる	
到達目標	サロン運営の理論を学び、経営目線で物事考え主体的に行動する能力を身に着けることができる	
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない	
テキスト	AEAサロンマネジメント学テキスト 来客実習マニュアルテキスト	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習（フェイシャル）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	108
教育目標・ ねらい	① フェイシャルエステティック技術を行う環境設定を学び実践する ② 基本手技マッサージを学び、効果・目的を理解する ③ ディープクレンジングの種類を学び、商材に合わせた技法を修得する				
授業回	学習内容			備 考	
1	フェイシャル基礎実技① 1. セッティングの仕方 2. 消毒の仕方 3. タオル操作 4. お客様の誘導 【到達目標】 お客様をお迎えする準備を行い、衛生上安全に且つお客様に好感と信頼を持って頂く環境を整える意味を学び実践が出来る。				
2	フェイシャル基礎実技① 5. ポイントクレンジング 6. ベースクレンジング 7. ふき取り 8. スチームタオル				
3	フェイシャル基礎実技① 復習 1. セッティングの仕方 2. 消毒の仕方 3. タオル操作 4. お客様の誘導 【到達目標】 お客様をお迎えする準備を行い、衛生上安全に且つお客様に好感				
4	フェイシャル基礎実技① 復習 5. ポイントクレンジング 6. ベースクレンジング 7. ふき取り 8. スチームタオル				
5	フェイシャル基礎実技演習① 復習 1. セッティングの仕方 2. 消毒の仕方 3. タオル操作 4. お客様の誘導 5. ポイントクレンジング 6. ベースクレンジング 7. ふき取り 8. スチームタ オル				
6	フェイシャル基礎実技② 1. 基本手技マッサージ（マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法） 【到達目標】 マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来				
7	フェイシャル基礎実技② 演習 1. 基本手技マッサージ（マッサージ料の塗布の仕方・揉捻法・打法） 【到達目標】 マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来るようになる。				
8	フェイシャル基礎実技② 演習 1. 基本手技マッサージ（マッサージ料の塗布の仕方・振動法・圧迫法） 【到達目標】 マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来る				
9	フェイシャル基礎実技演習② 演習 1. 基本手技マッサージ（マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉 捻法・打法・振動法・圧迫法）				
10	フェイシャル基礎実技演習② 1. 基本手技マッサージ（マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉 捻法・打法・振動法・圧迫法）				

授業回	学習内容	備考
11	<p>【フェイシャル基礎実技演習②】</p> <p>1. 基本手技マッサージ（マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法）</p> <p>【到達目標】手技の効果を理解し、手順を覚え時間通りに行うことができる</p>	
12	<p>フェイシャル基礎実技③</p> <p>1. デイープクレンジング（粒子あり・粒子無し）</p> <p>【到達目標】古い角質の汚れを取り除く技術を学び、肌質や敏感度、トラブルに合わせて最適な手法を選択することが出来るようになる。</p>	
13	<p>フェイシャル基礎実技③</p> <p>1. デイープクレンジング(フリマトール・スチーマー・酵素・スクイズ・吸引)</p> <p>【到達目標】古い角質の汚れを取り除く技術を学び、肌質や敏感度、トラブルに合わせて最適な手法を選択することが出来るようになる。</p>	
14	<p>【フェイシャル基礎実技演習③】</p> <p>1. デイープクレンジング(粒子あり・粒子無し・フリマトール・スチーマー・酵素・スクイズ・吸引)</p> <p>【到達目標】古い角質の汚れを取り除く技術を学び、肌質や敏感度、トラブルに合わせて最適な手法を選択することが出来るようになる。</p>	
15	<p>【フェイシャル基礎実技⑤】</p> <p>1. 美容電気機器（イオン導入）</p> <p>【到達目標】直流電流の理論を理解し、電気の性質によって皮膚深部に化粧品成分を導入する手技の実践を行い工程を覚え説明が出来る。</p>	
16	<p>【フェイシャル基礎実技⑤】</p> <p>1. 美容電気機器（ディスクラステーション）</p> <p>【到達目標】直流電流の理論を理解し、電気の性質によって毛穴洗浄の手技の実践を行い工程を覚えて説明が出来る。</p>	
17	<p>【フェイシャル基礎実技演習⑤】</p> <p>1. 美容電気機（イオン導入・ディスインクラステーション）</p> <p>【到達目標】直流電流の作用を理解し、イオン導入とディスインクラステーションの違いを理解して施術を行うことが出来る</p>	
到達目標	お客様を安全にお迎えする環境設営を学び、施術を行う心得を技術面から修得する。また、基本手技マッサージやデイープクレンジングを修得し、手技の効果・目的を実践で理解出来る。	
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない	
テキスト	新エステティック学ー技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習（フェイシャル）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	90
教育目標・ ねらい	フェイシャルエステティックトリートメントの各技術工程を修得し、肌質・肌トラブルによって 機器・商材の種類の選択肢があることを学ぶ。				
授業回	学習内容			備 考	
1	フェイシャル基礎実技⑥ 1. パック・マスク 【到達目標】パック・マスク料の使用目的を理解し、塗布の技術工程を覚える。肌質・トラブルによって商材の選択が出来るようになる。				
2	フェイシャル基礎実技演習⑥ 1. パック・マスク 【到達目標】パック・マスク料の使用目的を理解し、塗布の技術工程を覚える。肌質・トラブルによって商材の選択が出来るようになる。				
3	フェイシャル基礎実技⑦ 1. 電気機器－高周波（直接法・間接法） 【到達目標】高周波理論を理解し、高周波機器の工程を覚え目的によって技法を選択し説明が出来る。				
4	フェイシャル基礎実技演習⑦ 1. 電気機器－高周波（直接法・間接法マッサージ含む） 【到達目標】高周波理論を理解し、高周波機器の工程を覚え目的によって技法を選択し説明が出来る。				
5	フェイシャル基礎実技演習⑦ 1. 電気機器－高周波（直接法・間接法マッサージ含む） 【到達目標】高周波理論を理解し、高周波機器の工程を覚え目的によって技法を選択し説明が出来る。				
6	フェイシャル基礎実技演習⑦ 1. 電気機器－高周波（直接法・間接法マッサージ含む） 【到達目標】高周波理論を理解し、高周波機器の工程を覚え目的によって技法を選択し説明が出来る。				
7	フェイシャル基礎実技⑧ 1. 超音波機器 【到達目標】超音波理論を理解し、肌質・肌トラブルの目的によって機器の選択を行い説明が出来る。				
8	フェイシャル基礎実技演習⑧ 1. 超音波機器 【到達目標】超音波理論を理解し、肌質・肌トラブルの目的によって機器の選択を行い説明が出来る。				
9	フェイシャル基礎実技⑨ 1. パター 【到達目標】吸引吸排応用機器の仕組みを理解し、技術工程を覚え作用目的の説明が出来る。				

授業回	学習内容	備考
10	フェイシャル基礎実技演習⑨ 1. パター 【到達目標】吸引吸排応用機器の仕組みを理解し、技術工程を覚え作用目的の説明が出来る。	
11	フェイシャル基礎実技総合演習 1. パック・マスク 2. 高周波機器 3. 超音波機器 4. パター 【到達目標】各技術工程の備品・施術環境を整え、商材の選択・施術時間・正確な技術工程の練習を行う。また、トリートメント工程を組み立てる際に自ら時間配分や機器・商材の選択が出来る。	
12	フェイシャル基礎実技総合演習 1. パック・マスク 2. 高周波機器 3. 超音波機器 4. パター 【到達目標】各技術工程の備品・施術環境を整え、商材の選択・施術時間・正確な技術工程の練習を行う。また、トリートメント工程を組み立てる際に自ら時間配分や機器・商材の選択が出来る。	
13	フェイシャル基礎実技総合演習 1. パック・マスク 2. 高周波機器 3. 超音波機器 4. パター 【到達目標】各技術工程の備品・施術環境を整え、商材の選択・施術時間・正確な技術工程の練習を行う。また、トリートメント工程を組み立てる際に自ら時間配分や機器・商材の選択が出来る。	
14	フェイシャル基礎実技総合演習 1. パック・マスク 2. 高周波機器 3. 超音波機器 4. パター 【到達目標】各技術工程の備品・施術環境を整え、商材の選択・施術時間・正確な技術工程の練習を行う。また、トリートメント工程を組み立てる際に自ら時間配分や機器・商材の選択が出来る。	
到達目標	ハンドケアと組み合わせ合わせて行う機器トリートメント種類を理解することが出来るようになる	
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数(全体の4/5)を下回る学生は受験することができない	
テキスト	新エステティック学ー技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習（ボディ）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	90
教育目標・ ねらい	① ボディエステティック技術を行う環境設定を学び実践する ② 基本手技マッサージを学び、効果・目的を理解する ③ ディープクレンジングの種類を学び、商材に合わせた技法を修得する				
授業回	学習内容			備 考	
1	ボディ基礎実技① 1. セッティングの仕方 2. 消毒の仕方 3. タオル操作 4. お客様の着替え・誘導 5. 洗浄 【到達目標】お客様をお迎えする準備を行い、衛生上安全に且つお客様に好感と信頼を持って頂く環境を整える意味を学び実践が出来る。				
2	ボディ基礎実技② 1. 基本手技マッサージー下肢① 2. スチームタオルふき取り（マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法） 【到達目標】マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来るようになる。				
3	ボディ基礎実技② 1. 基本手技マッサージー下肢② 2. スチームタオルふき取り（マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法） 【到達目標】マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来るようになる。				
4	ボディ基礎実技② 1. 基本手技マッサージー臀部① 2. スチームタオルふき取り（マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法） 【到達目標】マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来るようになる。				
5	ボディ基礎実技② 1. 基本手技マッサージー臀部② 2. スチームタオルふき取り（マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法） 【到達目標】マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来るようになる。				
6	ボディ基礎実技② 1. 基本手技マッサージー背部① 2. スチームタオルふき取り（マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法） 【到達目標】マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来るようになる。				
7	ボディ基礎実技② 1. 基本手技マッサージー背部② 2. スチームタオルふき取り（マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法） 【到達目標】マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来るようになる。				

授業回	学習内容	備考
8	ボディ基礎実技総合演習 基本手技マッサージ1. 下肢 2. 臀部 3. 背部 【到達目標】基本手技の下肢・臀部・背部の技術工程の復習を行い、姿勢・体重移動・リズム・連動性を修得する。	
9	ボディ基礎実技総合演習 基本手技マッサージ1. 下肢 2. 臀部 3. 背部 【到達目標】基本手技の下肢・臀部・背部の技術工程の復習を行い、姿勢・体重移動・リズム・連動性を修得する。	
10	ボディ基礎実技② 1. 基本手技マッサージー腕 2. スチームタオルふき取り（マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法） 【到達目標】マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来るようになる。	
11	ボディ基礎実技② 1. 基本手技マッサージー腹部 2. スチームタオルふき取り（マッサージ料の塗布の仕方・軽擦法・強擦法・揉捻法・打法・振動法・圧迫法） 【到達目標】マッサージの基本手技を修得し、手技の効果を理解し実践出来るようになる。	
12	ボディ基礎実技総合演習 基本手技マッサージ1. 腕 2. 腹部 【到達目標】基本手技の下肢・臀部・背部の技術工程の復習を行い、姿勢・体重移動・リズム・連動性を修得する。	
13	ボディ基礎実技総合演習 基本手技マッサージ1. 下肢 2. 臀部 3. 背部 4. 腕 5. 腹部 【到達目標】基本手技の下肢・臀部・背部の技術工程の復習を行い、姿勢・体重移動・リズム・連動性を修得する。	
14	ボディ基礎実技③ 1. ディープクレンジング（粒子あり・粒子無し・ブラシクレンジング） 【到達目標】古い角質の汚れを取り除く技術を学び、肌質や敏感度、トラブルに合わせて最適な手法を選択することが出来るようになる。	
15	ボディ基礎実技総合演習 1. 基本手技マッサージ 2. ディープクレンジング 【到達目標】基本手技マッサージを復習し、ディープクレンジングの手法を確認し商材によって技法を変える事が出来る。	
到達目標	お客様を安全にお迎えする環境設営を学び、施術を行う心得を技術面から修得する。また、基本手技マッサージやディープクレンジングを修得し、手技の効果・目的を実践で理解出来る。	
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない	
テキスト	新エステティック学ー技術編Ⅰ AEAボディ実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	
学科	ビジネス美容科	41 担当教員 境田・笹木・高橋・川添

科目名	エステティック技術実習（ボディ）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 （単位）	60
教育目標・ ねらい	① ディープクレンジングの種類と工程を学び、選択肢の幅を広げる。 ② トラブル別に効果・目的の異なる美容電気機器の工程を学び、施術目的に沿って最適な機器選択を行う。				
授業回	学習内容			備 考	
1	ボディ基礎実技③1. ディープクレンジング（酵素） 【到達目標】古い角質の汚れを取り除く技術を学び、肌質や敏感度、トラブルに合わせて最適な手法を選択することが出来るようになる。				
2	ボディ基礎実技演習 ディープクレンジング 1. 粒子あり 2. 粒子無し 3. ブラシクレンジング 4. 酵素 【到達目標】古い角質の汚れを取り除く技術を学び、肌質や敏感度、トラブルに合わせて最適な手法を選択することが出来るようになる。				
3	ボディ基礎実技④ 1. 美容電気機器（ボディガルバニック） 【到達目標】直流電流の理論を理解し、電気の性質によって皮膚深部に化粧品成分を導入する手技の実践を行い工程を覚え説明が出来る。				
4	ボディ基礎実技⑤ 1. 美容電気機器（ボディサクション） 【到達目標】吸引吸排応用機器の仕組みを理解し、技術工程を覚え作用目的の説明が出来る。				
5	ボディ基礎実技演習 美容電気機器 1. ボディガルバニック 2. ボディサクション 【到達目標】技術工程を覚え作用目的の説明が出来る。				
6	ボディ基礎実技⑥ 1. 美容電気機器（バイブレーター・G5）ー下肢 【到達目標】振動応用機器の生体作用の原理を理解し、機器の使い方取得する。また、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の体の状態によって機器の選択が出来るようになる。				
7	ボディ基礎実技⑦ 1. 美容電気機器（バイブレーター・G5）ー背部・腹部 【到達目標】振動応用機器の生体作用の原理を理解し、機器の使い方取得する。また、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の体の状態によって機器の選択が出来るようになる。				
8	【ボディ基礎実技演習】美容電気機器 バイブレーター・G5 1. 下肢 2. 背部 3. 腹部 【到達目標】美容電気機器の総合演習を行い、使用目的を理解し技術工程を行うことが出来る				
9	ボディ基礎実技⑧ 1. 美容電気機器 （赤外線機器・可視光線機器・保温マット） 【到達目標】各光線の仕組みと保温マットによる使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の体の状態によって機器の選択が出来るようになる				
授業回	学習内容			備 考	

10	<p>【ボディ基礎実技演習】1. 美容電気機器 (赤外線機器・可視光線機器・保温マット)</p> <p>【到達目標】各光線の仕組みと保温マットによる使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の体の状態によって機器の選択が出来るようになる</p>	
到達目標	<p>施術目的に沿って、お客様の要望に応える事が出来る施術計画を立てる事が出来るようになる。また、各工程について効果・作用・禁忌事項を理論的に説明することが出来る。</p>	
評価方法	<p>所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない。学科実技試験60点以上単位取得可</p>	
テキスト	<p>新エステティック学ー技術編Ⅰ AEAボディ実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント</p>	
特記事項	<p>実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う</p>	

学科	ビジネス美容科	担当教員	近田		
科目名	エステティック技術実習(メイクアップ)	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	CIDESCO試験に向けて知識と技術を学び、メイクの基礎技術を習得する。 フルメイクをする為の知識、マナーやテクニックについて理解し、時間内に基本的なメイクアップを仕上げる技術が習得出来るようになる。				
授業回	学習内容			備 考	
1	メイク基礎知識×技術 ※ 相モデル実習 (メイク基礎知識、マナー、スキンケア、ベースメイク) 【到達目標】 メイク教材・基本テクニックを理解する				
2	メイク基礎知識×技術 ※ 相モデル実習 (メイク基礎知識、マナー、スキンケア、ベースメイク) 【到達目標】 顔の構造を理解し、骨格・筋肉・脂肪によって使用教材やテクニックを変えることが出来る				
3	メイク基礎知識×技術 ※ 相モデル実習 (メイク基礎知識、マナー、スキンケア、ベースメイク) 【到達目標】 標準のプロポーションを理解し、肌のベース作りが出来る				
4	メイク基礎知識×技術 ※ 相モデル実習 (アイシャドウ、アイライナー、ビューラー、マスカラ、) 【到達目標】 アイメイクの使用目的・選択基準使用ポイントについて理解する				
5	メイク基礎知識×技術 ※ 相モデル実習 (アイシャドウ、アイライナー、ビューラー、マスカラ、) 【到達目標】 アイメイクの使用目的・選択基準使用ポイントについて理解する				
6	メイク基礎知識×技術 ※ 相モデル実習 (アイシャドウ、アイライナー、ビューラー、マスカラ、) 【到達目標】 アイメイクの使用目的・選択基準使用ポイントについて理解する				
7	メイク基礎知識×技術 ※ 相モデル実習 (アイブロウ、チーク、リップ) 【到達目標】 基本の眉の形を理解し、仕上げる事が出来る。				
8	メイク基礎知識×技術 ※ 相モデル実習 (アイブロウ、チーク、リップ) 【到達目標】 頬骨の位置を知ることと、唇のバランスを把握し筆の使い方を習得出来る				
9	メイク基礎知識×技術 ※ 相モデル実習 (アイブロウ、チーク、リップ) 【到達目標】 頬骨の位置を知ることと、唇のバランスを把握し筆の使い方を習得出来る				

授業回	学習内容	備考
10	フルメイク（技術向上フルメイク・クレンジング・実力テスト） 【到達目標】一連の流れを時間内に仕上げる事が出来る	
11	フルメイク ※ 相モデル実習 （技術向上フルメイク・クレンジング・実力テスト） 【到達目標】一連の流れを時間内に仕上げる事が出来る	
12	フルメイク ※ 相モデル実習 （技術向上フルメイク・クレンジング・実力テスト） 【到達目標】一連の流れを時間内に仕上げる事が出来る	
13	フルメイク（応用編） ※ 相モデル実習 【到達目標】お客様の個性に合わせてナチュラルメイクを仕上げる事が出来る	
14	フルメイク（応用編） ※ 相モデル実習 【到達目標】お客様の個性に合わせてナチュラルメイクを仕上げる事が出来る	
15	フルメイク（応用編） ※ 相モデル実習 【到達目標】お客様の個性に合わせてナチュラルメイクを仕上げる事が出来る	
到達目標	(1)CIDESCO試験に向けて基礎知識とメイク技術を習得し、相手に似合わせるメイクが出来るようになる (2)基本技術フルメイクを30分で仕上げられる技術を習得。	
評価方法	各単元毎で確認テストを実施し、総合結果を100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない	
テキスト	配布資料	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習（東洋セラピー）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	さまざまなセラピー知識・技術を学び、技術の選択肢の幅を広げる				
授業回	学習内容			備 考	
1～6	ホットストーン・ロミロミ 1. 歴史 2. 目的・作用 3. 技術工程 【到達目標】概要を踏まえ、技術全体を把握する。エステティックとの組み合わせを学ぶ				
7～12	ホットストーン・ロミロミ 1. 技術工程（上半身） 2. 技術工程（下半身） 【到達目標】体重移動・姿勢・ストーンの使い方を学び、解剖生理学観点から効果を学び技術を修得する				
13～18	アーユルヴェーダー 1. 技術工程（前操作） 2. 技術工程（上半身・頭部） 3. 技術工程（下半身） 【到達目標】全身の浄化作用を確認し、チャクラを意識しリンパの流れに沿って技術工程を学び修得する				
19～24	アーユルヴェーダー 全身演習① 【到達目標】全身の技術工程を確認しながら、体重移動・姿勢・各技術のリズム・スピード・連動性を意識しながら全工程の演習を行う				
25～30	アーユルヴェーダー 全身演習② 【到達目標】全身の技術工程を確認しながら、体重移動・姿勢・各技術のリズム・スピード・連動性を意識しながら全工程の演習を行う				
到達目標	技術の幅を広げ、施術目的に対し効果をより出すことが出来るようになる。				
評価方法	各単元毎で確認テストを実施し、総合結果を100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	新エステティック学―選択編 AEA東洋・西洋セラピーテキスト 配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習（実技試験）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	6
教育目標・ ねらい	目的・効果を学び、安全且つ時間内に正確に技術をみにつける				
授業回	学習内容			備 考	
1	フェイシャル実技試験：基本操作・クレンジング・マッサージ・ふき取り 【到達目標】 正確に基本技術を行うことが出来る				
2	ボディ実技試験：基本操作・洗浄・マッサージ・ふき取り 【到達目標】 正確に基本技術を行うことが出来る				
到達目標	基本技術工程を時間内に正確に行うことが出来、安全且つ衛生面に配慮した施術を行うことが出来る				
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で70点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	新エステティック学一技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習（実技試験）	学 年	1 年	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	6
教育目標・ ねらい	目的・効果を学び、安全且つ時間内に正確に技術をみにつける				
授業回	学習内容			備 考	
1	フェイシャル実技試験：基本操作・クレンジング・機器・マッサージ・ふき取り 【到達目標】 正確に基本技術を行うことが出来、機器の効果。目的を理解し安全に使用することが出来る				
2	ボディ実技試験：基本操作・洗浄・マッサージ・機器・ふき取り 【到達目標】 正確に基本技術を行うことが出来、機器の効果。目的を理解し安全に使用することが出来る				
3	メイク実技試験：ナチュラルメイク技術（フルメイク） 【到達目標】 スキンケアからベース作り、ポイントメイクを行い、基本技術を正確に行うことが出来る				
到達目標	基本技術工程を時間内に正確に行うことが出来、安全且つ衛生面に配慮した施術を行うことが出来る				
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で70点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	新エステティック学一技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・高橋		
科目名	高度美容技術（アロマセラピー）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	80
教育目標・ ねらい	アロマオイルの使用したトリートメントの作用と技術工程を学び、お客様の体の不調を和らげる方法を学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1～6	【アロマセラピー 理論編】 1. 概論 2. 歴史 3. エッセンシャルオイルについて 4. キャリアオイルについて 5. 人体への吸収と排出 【到達目標】 アロマセラピーの基礎知識を学び、人体への作用やエステティックとの関わりを理解する				
7～12	【アロマセラピー 理論編】 6. 香りの伝達 7. ブレンディング 8. コンサルテーションシートについて 9. 危険な精油 10. ストレスについて 【到達目標】 アロマセラピーの基礎知識を学び、人体への作用やエステティックとの関わりを理解する				
13～18	【アロマセラピー技術編】 1. 施術室の準備 2. 環境設定 3. 設備設定 4. 機器備品類設定 5. 商材の準備 6. 注意事項 【到達目標】 技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する				
19～24	【アロマセラピー技術編】 1. 技術ポイントの確認 2. 技術工程（前操作） 3. 技術工程（背部～臀部） 【到達目標】 技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する				
25～30	【アロマセラピー技術編】 1. 技術工程（下肢背面・前面） 【到達目標】 技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する				
31～36	【アロマセラピー技術編】 1. 技術工程（頭部） 2. 技術工程（顔・デコルテ・首） 【到達目標】 技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する				
37～42	【アロマセラピー技術編】 1. 技術工程（顔・デコルテ・首） 2. 技術工程（腹部） 【到達目標】 技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する				
43～48	【アロマセラピー技術編】 1. 技術工程（顔・デコルテ・首・頭部・腹部・下肢前面） ※ 技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する				

授業回	学習内容	備考
49～54	【アロマセラピー技術編】1. 技術工程（背部・臀部・下肢背面） 【到達目標】技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する	
55～60	【アロマセラピー技術編】総合演習①（全技術工程） 【到達目標】技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する	
61～66	【アロマセラピー技術編】総合演習②（全技術工程） 【到達目標】技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する	
67～72	【アロマセラピー技術編】総合演習③（全技術工程） 【到達目標】技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する	
73～78	【アロマセラピー技術編】総合演習④（全技術工程） 【到達目標】技術工程を学び、アロマオイルによって身体に起こる反応と解剖生理学の観点から体の不調を分析する	
79～80	【アロマセラピー理論編】総合演習（コンサルテーション） 【到達目標】お客様の身体状況を分析し、アロマオイルのブレンドを行う。また、アロマオイルの作用を解剖生理学・皮膚科学の観点から説明を行う	
到達目標	身体の不調によって、アロマオイルのブレンド行い効果・効能を考慮し技術を行うことが出来る。またアロマオイルの効能を活かしたホームケアアドバイスを伝えることが出来る	
評価方法	各単元毎で確認テストを実施し、総合結果を100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない	
テキスト	シデスコアロママニュアルテキスト 新エステティック学ー選択編	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	高度美容技術（匠すと）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	技術研鑽に励み、技術レベルの向上を図る				
授業回	学習内容			備 考	
1	1. 競技オリエンテーション 2. 各競技説明 3.各競技デモンストレーション				
2・3	【競技演習】				
4・5	【競技演習】				
6・7	【競技演習】				
8・9・10	各競技本番				
到達目標	基礎技術・応用技術を身につけ技術力を磨き、自ら発信出来るクリエイターになることが出来る				
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	全テキスト				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	井上		
科目名	美容美術（デッサン）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	演習	必修	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ ねらい	絵画表現の基礎であるデッサンを通して「物を見る力」と「造形する力」を育成し造形的な表現方法を学ぶ。校内コンテスト『匠すと』ヘアデッサン部門への作品参加を目指す。				
授業回	学習内容			備 考	
1	絵画法とデッサンの歴史と基本について 【到達目標】 デッサンの歴史と鉛筆削り方・扱い方を学び、効果的な使い方を学び作業ができるようになる			コピー配布・カッターナイフ	
2～3	フェイスペイントデザイン 【到達目標】 フェイスペイントデザインのテーマを決めてデザインを考えて描けるようになる			色鉛筆	
4～6	ヘアの写真を転写して髪の毛のデッサン(基本) 【到達目標】 転写法(サンプルの作品を写す技法)を学びヘア鉛筆デッサンにおける基本的な構図、立体感、ヘアの質感を理解し、転写法でデッサンが描けるようになる			A4ケント紙・定規 (30 cm)	
7	ヘアデッサンとフェイスペイント 【到達目標】 髪の毛の構造を理解し、髪の毛の質感を表現する。彩色方法を学び表現できるようになる			A4ケント紙・定規 (30 cm)	
8～9	生物デッサン(動物・花のデッサン)法 【到達目標】 動物・花の構図、立体感、質感を学び描けるようになる			B4ケント紙・定規 (30 cm)	
10	生物デッサン(動物・花のデッサン)彩色法 【到達目標】 動物・花の質感や色を考えながら彩色し、生き生きとした表現ができるようになる			B4ケント紙・定規 (30 cm)	
11～12	ヘアの写真を転写して髪の毛のデッサン(応用) 【到達目標】 髪の毛の構造と質感を理解し、光と影を考えながら表現ができるようになる			A3ケント紙・定規 (30 cm)	
13～15	ヘアデッサンの彩色とフェイスペイント 【到達目標】 ヘアデッサン完成後、ヘアを彩色しフェイスペイントを描けるようになる。トータルイメージを表現できるようになる			A3ケント紙・定規 (30 cm)	

到達目標	デッサンの基本を習得し造形的な表現を学び、2年次に美翔祭のトータルイメージに表現して応用力をつける。
評価方法	提出課題により評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない
テキスト	コピー配布

学科	ビジネス美容科	担当教員	人見		
科目名	表現技術（話し方）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	20
教育目標・ ねらい	社会に必要なビジネスマナーと面接対策、ビジネス検定試験合格へのスキルを身につける。 接客コミュニケーション、接客時の立居振舞い、なぜビジネスマナーは必要なのかを考える。 日本経済や歴史、情報収集、社内文書作成方法など、幅広い知識を取得し、社会人として役立つスキルを学ぶ。				
授業回	学習内容			備 考	
1	授業ガイダンス：マナーとは何か 第一印象が大切な理由 笑顔と美しいの作り方、敬語の種類、発声法。早口言葉。活舌と声の種類				
2	面接や仕事場での自己紹介、立ち方・座り方。接客案内時の手の動きと方向 自分の強み、弱み、魅力を見つける。面接ロールプレイング ドアの開閉と接遇、ご案内				
3	図表、グラフの見方。統計を学ぶ。ビジネス文書の作成方法(社内・社外) 試験で解答に必要な箇所の読み取り方。 自己紹介文作成と発表、話の実践				
4	サービスとは：接客ノウハウ。クレーム処理。プラスの一言。クッション言葉 売上向上に必要なことを学ぶ。顧客獲得方法とミステリーショッパー対策 報告・連絡・相談。おしゃれと身だしなみ				
5	電話対応：受電と架電。お客様の心理状態を読む。 表情が見えない時の対応方法。メモの取り方。5W2H。 トークスクリプトを使用したロールプレイング				
6	ビジネス検定試験に必要な暗記方法と勉強方法。ビジネス用語。 ビジネスメールのやりとり。敬語の種類と話し方。				
7	ビジネスチャンスを広げる。先を読む力。お客様の支持を得る方法を学ぶ 要望とニーズの違い。キャリア形成とは。就職、転職、再就職、現代の働き方				
8	コンプライアンスと接客の基本。売上戦略とは。新聞の読み方、8つの意識。 PDCAサイクル。TPO,社外の付き合い方、冠婚葬祭。				
9	過去問題集：テスト形式、本番形式による筆記試験と自己採点。解答解説				
10	過去問題集：テスト形式、本番形式による筆記試験と自己採点。解答解説				

到達目標	社会で必要なビジネスマナーの取得。美しい所作、立ち居振る舞いを身につける。 ビジネス検定試験のテキストを参考に、洗練された接客対応の実践ができるようになる。
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない
テキスト	2022年 ビジネス検定試験テキスト、問題集。配布プリント。

学科	ビジネス美容科	担当教員	人見		
科目名	表現技術（ビジネス実務）	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	面接対策と社会のルールの復習、職場に合わせたハウスルールやワンランク上の接客対応を身に 着ける。テキストを使用しながら、お客様心理や顧客を長く惹きつける方法を学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1	自分のキャリアを考える。働くこととは。社会で必要とされる人物とは。 仕事への取り組み方。責任と職業倫理。積極性と自主性。組織と社会の仕組み 自分の役割を考える。コンプライアンスとITのビジネス環境				
2	1年時の総復習。9つの意識、自己紹介と自己PR。 笑顔トレーニング。TPOとは。自己表現と身だしなみルール。				
3	話し方のロールプレイング。様々な場面での切り返しトーク、 両面販売方法を学ぶ。お客様の満足度を上げるために必要なことを知る。				
4	歩き方、所作の作法、視線の効果。敬語マスター。 自分へのマネジメントと見せ方。来客対応の流れ。				
5	クレーム処理と顧客満足度。活躍し、期待される人は何が違うのか。 利益とホスピタリティ精神。オペレーション方法。顧客意識。 ニーズと要望。サービスの提供方法を学ぶ。問題の拡大を防ぐ。				
6	円滑なコミュニケーションに必要なこと。ものの考え方。 職場で気を付けること。健康管理とルール。ストレスとの付き合い方。				
7	報告・連絡・相談の重要性。ビジネスの目的と心構え。 傾聴力とお詫びの態度。質問の技術と答え方。				
8	商談の進め方。コンサルティングセールスとは。 信頼を得るポイント。見込み客から得意客へ。情報収集の大切さ。				
9	チームワークの重要性。会議の必要性。プレゼンテーションの目的。 チームワークとリーダーの役割。後輩の育て方。 労働と信用取引。問題解決能力。				
10	人脈とビジネスチャンス。業務の種類と管理。スケジュール管理。 環境の変化によるIT化と在宅ワーク社会。情報セキュリティと危機管理。 計画の重要性。数値情報の大切さ。数値の読み取り方。				
到達目標	敬語を使用し、スムーズにお客様へのご案内が出来るようになる。 お客様に選ばれる、明るく印象のよい接客が出来る。所作の美しい動きが身につく。 社会で必要とされる存在になる知識と技術を身につける。				
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を 下回る学生は受験することができない				
テキスト	ビジネス能力検定ジョブパス、配布プリント。				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	表現技術（ビジネスマインド）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ ねらい	職業人になるべく、ビジネスパーソンとしての考え方を学ぶ。また1年次の学業期間にどのような目標を持ち、達成していくプロセスを自ら考える				
授業回	学習内容			備 考	
1	【接遇とは】1. ホスピタリティについて説明				
2	【接遇とは】1. 9つの意識 ①				
3	【接遇とは】1. 9つの意識 ②				
4	【接遇とは】1. 挨拶、返事の必要性 2. 発声練習				
5	【接遇とは】1. 印象について				
6	【身嗜み】1. 身だしなみについて				
7	【身嗜み】1. オシャレと身だしなみの違い				
8	【基本動作】1. 社会人としての立ち姿勢、座り姿勢、お辞儀、歩き方				
9~14	【承認と共感】 1. 相手を受け入れること 2. 自分を受け入れること 3. 各月の目標設定・改善点 ※ 各月ごとに承認と共感についてセルフワーク・グループワークを行い、クラス目標と各個人の目標に対し振り返りを行う。また改善点を考え、次月の目標設定を行う				
到達目標	PDCAサイクルを行うことが出来、コミュニケーションを図ることが出来るようになる。また自己実現をすべく、自分と向き合い改善点に対しより具体的な行動計画を立て遂行することが出来る				
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない				
テキスト	ビジネスマインドテキスト				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	ホームルーム（宿泊研修）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	講義/演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	学園教育方針を理解し、自己目標を立てることで職業理解をする				
授業回	学習内容			備 考	
1	職業人としてふさわしい「挨拶」「立居振舞い」「言葉遣い」を実践する				
2	職業人として必要な「9つの意識」を理解し、実践する				
3	KOKUSAIで学ぶ目的、何の為に学ぶのかを明確にする				
4	クラスや個人目標を設定する（理想とする将来像をイメージする）				
5	立てた目標を達成するための行動指針を形成する				
6	目標・行動指針に対し振り返りを行い修正を行う				
到達目標	主体性を養い、自己の行動における優先順位を明確にし、学業に専念することが出来る				
評価方法	提出レポートを100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	プリント				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木		
科目名	華道	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	8
教育目標・ ねらい	自由な発想力やアイデアを活かし、色のバランスや構成を考え作品をつくる				
授業回	学習内容			備 考	
1・2	【フラワーアレンジメント】 【到達目標】 題目を決めて自由に創作し、創造性と感受性を養う				
3	【美翔祭トータルヘアショーヘッドアレンジメント】 【到達目標】 題目に沿った作品を作成し、想像性を養う行とが出来る				
4	【美翔祭トータルヘアショーヘッドアレンジメント】 【到達目標】 題目に沿った作品を作成し、想像性を養う行とが出来る				
到達目標	創造性を養い、イメージを形に起こすことが出来る				
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	配布プリント				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	学園祭	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	学んだ知識・技術をお客様に提供や観覧してもらう重要性を学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1～30	<p>学園祭</p> <p>①店舗名、役割決め 自分たちがお客様に提供する技術の内容を討議し、決定する</p> <p>②技術練習 提供すべき技術レベルを確認し、誰もが同一レベルの技術提供ができるよう、練習する</p> <p>③模擬練習 お客様のご来店からお見送りまで一連の流れを理解し、接客、技術提供ができるようになる</p> <p>④学園祭当日 お客様に喜んでいただける接客及び技術の提供を行う</p> <p>【到達目標】 お客様の視点に立ち、お客様に喜んで戴くために必要なことを考え、実践できるようにする</p>				
到達目標	発想力や創造性を養い、チームとしてパフォーマンスを行う協調性が身に就く。				
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	プリント配布				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	実務実習	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	① 業界理解を深める為、実際の現場で業務の流れを学ぶ ② 主体的に仕事に取り組む姿勢を学び、仕事の優先順位を学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1～30	【実務実習①】 1. 業界の仕事の流れを知る 2. 業界で働く人の考え方を知る 3. 目標設定を行う 1年次：6月 30時間 (1日5時間勤務) 実習先：ホテルSPA・大手・中小エステティックサロン				
	【実務実習②】 1. サロン業務の流れを把握し、主体的に動く 2. 報告・連絡・相談の重要性を学ぶ 3. 他己評価を受け入れる 1年次：2月 30時間 (1日5時間勤務) 実習先：ホテルSPA・大手・中小エステティックサロン				
到達目標	業界理解し、目指す職業選定の決定を行う。また学業で学ぶべきことを再認識し、目標設定を再度行う				
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数(全体の4/5)を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				